

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 原発の安全性の議論 は実証試験を基に</p>	<p>原発の事故は取り返しのつかない惨事を、長期にわたり広範囲に繰り広げます。それだけに、安全性の議論は、実証的に客観的に証明されなければなりません。この立場から町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 水素爆発を防ぐために、水素結合器を 20 個ほど増設するとのこと。予想される水素発生量と、処理能力は十分と判断できますか。そのデータを町民に示すよう東北電力に要請をすべきと思うが。</p> <p>(2) 規制庁では格納容器の破損を防ぐため、フィルター付きベントを設置し、放射能の放出を福島事故の 1000 分の 1 に抑える？とっていますが、実証試験を行っていますか。その根拠を示されたい。</p> <p>(3) 基準地震動 1000 ガルでは、またも過小評価ではないですか。岩手宮城内陸地震では 4022 ガルを記録しています。1000 ガルを超える地震は絶対ないといえるのですか。</p> <p style="text-align: right;">(質問の相手：町長)</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 基礎学力の向上を	<p>NHKで「石巻線ラッピング計画」という番組を放送していました。一方、中学生の孫のテストの結果を見て、基礎学力について考えさせられました。</p> <p>(1) 小学6年生が荒井先生の指導の下、「私の自慢できる女川」を描き、列車にラッピングする取り組みの放送でした。あの番組で荒井先生の投げかけたメッセージにより、子どもたちは殻を破り、本物の気持ちを表現できるようになりました。この営みこそが教育ではないですか。</p> <p>(2) どの子も成長したいのです。どの教科もしっかり学び、覚えたいのです。学力テストを見ると平均40点や50点では、とても子どもたちがかわいそうです。子どもたちがつまずいているのを、殻にこもっているのを、乗り越えさせる指導が求められている。教師が子どもと向き合う時間を抜本的に保証すべきです。</p> <p style="text-align: right;">(質問の相手：教育長)</p>
3 透析患者の足の確保に 財政支援を	<p>透析患者が本町でも20数名と伺っています。週2、3回の通院のために本当に苦勞されています。</p> <p>これまで町はタクシー券の支給など支援をしてきま</p>

質問者 高野 博

質問事項	質問の要旨
	<p>したが、足の確保を本格的に検討すべきです。家族の皆さんと協議し、NPOを組織し、NPOがタクシー会社と契約、それに町が財政的支援を考えてはどうか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>